

# 大寄公民館だより

発行 大寄公民館  
住所 深谷市起会 84-1  
電話 571-0341  
FAX 574-5865

## あけましておめでとうございます

大寄地区の皆さまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、皆様のご協力により、地区体育祭や芸能祭をはじめ、多くの公民館事業を無事開催することができました。

本年も生涯学習および地域コミュニティづくりの拠点として、多くの皆さまにご利用・ご参加していただけますよう職員一丸となって取り組んで参りますので、引き続き、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



大寄公民館 職員一同



## 和紙ちぎり絵教室

参加者募集

昨年、好評でした「和紙ちぎり絵教室」を行います。手先を使って、集中力を養う脳トレにもなります。優しい和紙の温もりにふれ、ちぎり絵を制作してみませんか。

と き 1月27日(土) 午後1時~4時  
と ころ 大寄公民館 大会議室

講 師 澤永 芳子先生 **今年の作品は、当日のお楽しみ!!**  
募集人数 20人  
対象/参加費 市内在住の小学生以上のかた / 500円(当日集金)  
申し込み 1月4日(木)~1月15日(月)  
大寄地区のかた 1月4日(木)~  
大寄地区以外のかた 1月9日(火)~  
電話または窓口で申し込み 午前9時~午後5時まで(土日祝除く)  
問い合わせ 大寄公民館 ☎571-0341



<昨年の作品>

## 「特別表彰」受賞

去る11月20日に深谷市社会福祉大会が開催され、永年にわたり社会福祉協議会役員として社会福祉発展に貢献されました田中光子氏(戸森)が特別表彰されました。

日頃から地域福祉活動にご尽力いただきありがとうございます。

## 産前産後期間相当分の国民健康保険税を軽減します

対象者: 出産する予定または出産した国民健康保険の被保険者  
軽減内容: 出産予定日または出産日が属する月の前月から4か月間(双子などの多胎妊娠の場合は3か月前から6か月間)の所得割額及び均等割額を軽減  
届出方法: 保険年金課、各総合支所の窓口または電子申請  
必要書類: 母子手帳などの写し、本人確認書類など  
詳しくは、市ホームページ(「産前産後」で検索)をご覧ください。

問い合わせ 保険年金課 ☎574-6641



1月24日(水) 午前9時~午後5時までは、全館清掃のため、図書室を含め施設利用ができません。

# 令和5年度「趣味の作品展」について 作品募集!

大寄地区に在住する人々が広く文化・芸術に触れ親しむ機会として、趣味の作品展を開催いたします。日頃制作された作品をふるって出品くださいますようご案内いたします。

出品申し込みは、令和6年1月9日（火）～2月2日（金）の  
午後5時まで（土日を除く）

※大寄公民館にある出品申込書に記入のうえ、  
期日までにお申し込みください。

**と き** 3月2日（土）午前9時～午後5時  
3月3日（日）午前9時～午後3時

**ところ** 大寄公民館 体育室

出品資格 深谷市在住在勤のかた、大寄公民館利用団体

主 催 大寄公民館

共 催 自治会連合会大寄支会

\*展示スペースにより出品数を制限する場合がございます。

問い合わせ 大寄公民館 ☎571-0341



## <公民館事業報告> 大寄地区歴史探訪講座

今年は「血洗島の<sup>よさく</sup>大工 安澤平七と與作について」荻野勝正先生より **11月25日（土）** 講話をいただきました。「東の家」の渋沢宗助が、養蚕技術のマニュアルや建物など養蚕開発に貢献していたこと、また新潟から腕のいい安澤平七を連れてきて、敷地をあてがえたことなど改めて感心しました。安澤平七は、娘婿の與作と共に「中の家」をはじめ農家主屋や小学校校舎・役場などを建築されており、矢島の瓦が「中の家」に使われていたことなど地元を感じるお話もありました。最初の宮中養蚕指導者であった田島武平の住む島村地区の養蚕農家を建築するなど興味深いお話もありました。安澤家のかたや、たくさんのかたに参加いただき大盛況でした。



## 家庭教育学級 11月29日（水）

埼玉県家庭教育アドバイザーの服部俊子先生を迎え、「育ちあい、話して深める親子関係」をテーマに、12名のかたが参加してくださいました。こんな時は子供にどう声掛けをするかなど、各家庭で子どもとのやり取りの様子を話し合ってもらいました。



他の家庭の話参考に、「家に帰って実践してみたい」「同じ悩みを持っている家庭もあってホットした」「とにかく会話を大事にしたいと思う」など意見が寄せられ大変有意義な時間となりました。



# 1月の主な行事予定



10日(水) 利用団体調整会議 午後1時～、午後2時～ 大会議室  
 25日(木) 第10回自治会長会議 午後7時～ 大会議室  
 27日(土) 和紙ちぎり絵教室 午後1時～ 大会議室

|                                 |              |    |              |
|---------------------------------|--------------|----|--------------|
| 《大寄地区の人口》 令和5年 12月 1日現在 ( )は前月比 |              |    |              |
| 男性                              | 1,497人 (- 3) | 合計 | 3,027人 (- 4) |
| 女性                              | 1,530人 (- 1) | 世帯 | 1,269 (- 1)  |

**【使用済小型家電の収集日】**  
**10日(第2水曜日)**  
**【有害ごみの収集日】**  
**19日(第3金曜日)**

## <公民館事業報告>

### 大寄支会合同防災訓練 12月2日(土)

今年は、各自治会に分かれた情報伝達訓練と、須藤浩一防災士(内ヶ島)による「ハザードマップの活用講座」を行いました。情報伝達では、連絡網が上手くまわらない自治会もあり、今後の課題がわかり、良い経験になりました。



### 年末防災パトロール 12月8日(金)

大寄駐在所の河原駐在官にご協力をいただき、多発する空き巣や車内の貴重品狙いなどの事例を踏まえ注意喚起と見回りについてお話していただきました。その後、自治会役員の皆さんにより、各地区に分かれて防犯パトロールを行いました。ご協力ありがとうございました。



### 親子クリスマスリース作り教室 12月9日(土)

本庄恵美先生を講師に迎え、11組のお母さんやおばあちゃんと児童が参加してくれました。リースの材料には、生の姫リンゴや、白樺の木片やクルミ、シルバープルニア(南アフリカ原産)などの植物をリースにつけられるように先生が加工をしてくださり、とっても可愛く植物の香りが漂う素敵なクリスマスリースができました。皆さんの家にはきっとサンタクロースが来てくれたでしょうね。



## 農業委員・農地利用最適化推進委員募集

募集期間 2月1日(木)～3月5日(火)  
 募集人数 農業委員: 24人  
 農地利用最適化推進委員: 16人  
 任期 令和6年7月20日～  
 令和9年7月19日までの3年間  
 身分及び報酬額 深谷市の特別職の非常勤職員として、月額33,000円  
 ■応募・推薦に係る書類の提出先・問い合わせ先  
 農業委員会事務局 ☎577-3439

## 深谷市スポーツ推進委員募集

応募資格 市の施策に沿って活動でき、事業の企画・運営に積極的に参加できる20歳以上の市内在住・在勤・在学のかた  
 任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日  
 報酬 年額3万円(源泉徴収有)  
 申し込み 履歴書(HP検索)を1月31日(水)までに郵送または持参【必着】  
 ※詳しくは、生涯学習スポーツ振興課(☎572-9581)へお問い合わせください。

# 大寄村の歴史

## 日本煉瓦製造会社(渋沢栄一)シリーズ①会長

今年の七月に新一万円札が発行されます。表の顔は郷土の偉人渋沢栄一翁。裏は東京駅です。赤煉瓦は大寄村上敷免にあつた日本煉瓦製造会社上敷免工場で製造されたものです。そこで今回からシリーズで、日本煉瓦百年史を参考に、日本煉瓦製造会社に関係する資料をまとめていきます。

「日本煉瓦製造株式会社」

深谷市上敷免にあつた工場。明治二十年(一八八七)ドイツ人の建築家ビヨックマンが顧問となり、渋沢栄一によってつくられた日本最初の洋式煉瓦工場である。渋沢は郷里の土地が



優良な原土を供給できる地域であることを知ってお

り、三井物産会社の益田孝は東京駅です。赤煉瓦は大寄村上敷免にあつた日本煉瓦製造会社上敷免工場で製造されたものです。そこで今回からシリーズで、日本煉瓦百年史を参考に、日本煉瓦製造会社に関係する資料をまとめていきます。

「煉瓦」という語、文字は明治以降、日本で用いられた字句で、中国にはない。中国では「磚」とか「磚」の字をあてている。

建築用材としては、世界的にみると、石、土、木の三種類があるが、わが国は木の文化圏であつたといえよう。煉瓦を焼いた技術者は、おそらく古くから瓦づくりに携わつていた瓦職人たちではなかつたらうか。古くから伝えられた技術・知識をもつて、未知の煉瓦を焼くことに取り組み、煉瓦製造に成功したと思われる。

日本煉瓦製造会社は、県内で唯一栄一自身が、

社長を務めた会社である。はじめドイツ製の最新式の煉瓦型機三台を据え、八十馬力の動力により、一日六万個の生煉瓦を造り出した。明治二十五年の秋、碓氷トンネルの煉瓦納入、同二十八年六月日本で初めての会社専用線が、高崎線深谷駅まで四・五キロつくられた。同四十年五月、第六号窯が完成し、大正十年頃には従業員約五百名を超えた。

明治時代の代表的な煉瓦建築、東京大学、赤坂離宮、日本銀行などの煉瓦は、全部日本煉瓦製造会社で造り出されている。

◎東京駅 明治四十一年着工し、大正三年に竣工。赤煉瓦の建物を日本中に建て続けた日本人建築家第一号、辰野金吾の設計による本邦最大級の煉瓦建築。

参考資料 埼玉大百科辞典 埼玉人物辞典

荻野 勝正

# 大寄俳句会

七日粥湯気の向うは赤ワイン  
赤城嶺へ祈る息災年新た

荒川に白鳥飛来しにぎやかに  
日だまりで猫食事終え顔洗う

空つ風栄一翁も吹かれたる  
病棟のかたはらに咲く冬桜

金井 実

岡田 清孝

瓜生 律子

# 大寄歌壇

学童の見守り時間近づいて

早目に出かけ現場で待機す

青い空に金の葉ひろげイチョウ立つ  
産土神の森は明るし

連綿と受け継がれしもの数多あり

正月行事のしきたりもまた

荻野 勝正

田中 光子

橋本 一枝